

施策評価シート

施策等名称	縄文プロジェクトの推進	体系番号	0703010101
		主管課	縄文プロジェクト推進室

1 施策基本情報

現状と課題	<p>○「縄文」は、茅野市特有の地域資源であり、この地域資源を活用したまちづくり、ひとづくりを進めるため縄文プロジェクトを改訂し、実行市民会議を立ち上げ、課題整理と進行管理を行っている。</p> <p>○当市には、縄文時代の国宝や特別史跡があるが、この資産を十分に活用できておらず、また市民の方の関心も決して高いとは言えない状態であり、「縄文」を意識した取組が課題となっている。</p>
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	<p>○「縄文」の価値を考古学の世界だけにとどめず、私たちの生活の中で普遍性を持たせ、茅野市の「宝」を磨き・育てる取組を展開する。</p> <p>○市民一人ひとりが、世界に誇る縄文文化とそれを育てた豊かな自然の中で生活していることに誇りが持て、茅野市の素晴らしさを全国に発信する。</p>

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値
	①	縄文プロジェクトHP等アクセス数	縄文プロジェクトHP及び尖石縄文考古館HPアクセス数(件/年)	93,543	94,000
②	尖石縄文考古館入館者数	入館者数(人/年)	59,782	65,000	70,000
③	尖石縄文まつり入場者数	縄文まつり来場者数(人)	3,800	3,900	4,000

施策の柱1	名称	縄文を識る	主管課	文化財課			
	詳細	縄文プロジェクトの5つの視点のうち、「識る」の視点から、縄文人の生き方を識り、現代社会の課題の解決につなげていきます。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業 区分		
	1	尖石縄文考古館入館者数	入館者数(人/年)	59,782	65,000 70,000	1 縄文を識る推進事業 2 尖石ボランティア事業	実施 実施
	2	縄文検定合格者数	合格者数(人・累計)	2,122	3,500 5,000	3 尖石縄文文化賞事業 4 縄文教室事業	実施 実施
	3	縄文ガイドブック販売数	ガイドブック販売数(冊・累計)	767	2,000 2,500	5 特別展事業 6	実施
	基本政策間連携 縄文の里史跡整備・活用計画・茅野市文化芸術推進計画・茅野市社会教育推進計画						

施策の体系	名称	縄文を広める	主管課	地域創生課			
	詳細	縄文プロジェクトの5つの視点のうち、「広める」の視点から、縄文の価値を国内外に向けて強力に発信します。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業 区分		
	1	縄文プロジェクトHP等アクセス数	アクセス件数(件/年)	93,543	94,000 95,000	1 縄文ホームページ運営事業 2 縄文ふるさと大使事業	実施 実施
	2	茅野市ふるさと応援団の登録者数	登録者数(人)	1,246	1,650 2,000	3 縄文ふるさと応援団推進事業 4	実施
	3	女神のクールビズの参加事業者数	参画事業者数(社)	8	30 50	5 6	
	基本政策間連携 茅野市行政基本計画・茅野市地域創生総合戦略・茅野市ICT活用戦略						

施策の柱3	名称	縄文を産み出す	主管課	商工課・観光課			
	詳細	縄文プロジェクトの5つの視点のうち、「産み出す」の視点から、縄文時代から育まれた自然環境や縄文文化遺産、縄文人が選んだ豊かな土地を産業に活かします。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業 区分		
	1	縄文関連商品開発支援事業補助件数	縄文関連商品開発支援事業補助件数(件/年)	0	2 2	1 新商品開発等支援事業 2	実施
	2	縄文関連商品取扱店舗数	縄文関連商品を取り扱う小売店舗数(店)	3	7 10	3 4	
	3	イベント出展回数	市内外のイベントへ縄文関連商品を出展販売回数(回)	3	7 10	5 6	
	基本政策間連携 第2次茅野市産業振興ビジョン(商業振興ビジョン)・茅野市地域創生総合戦略						

施策評価シート

施策等名称	縄文プロジェクトの推進	体系番号	0703010101
		主管課	縄文プロジェクト推進室

※施策の柱が4つ以上ある場合は下記へ記載

施策の柱 4	名称	縄文を楽しむ			主管課	生涯学習課		
	詳細	縄文プロジェクトの5つの視点のうち、「楽しむ」の視点から、縄文を通じた芸術やお祭りなどにより、人々が集い、楽しみ、親しみ、地域への愛着心を醸成します。また、縄文文化の広域的な発信の取組として、「縄文文化発信サポーターズ」や「甲信縄文文化発信・活性化協議会」へ参画し、事業を進めていきます。						
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業		区分	
	1	尖石縄文まつり入場者数	縄文まつり来場者数(人)	3800.00	3900.00	1	縄文プロジェクト推進事業	実施
					4000.00	2	関係団体支援事務(尖石縄文まつり)	実施
	2	ハケ岳JOMONライフフェスティバル来場者数(3年毎)	ハケ岳JOMONライフフェスティバル来場者数(人)	29425.00	32000.00	3		
					36000.00	4		
	3					5		
						6		
	基本政策間連携 茅野市地域創生総合戦略・縄文の里史跡整備・活用計画・茅野市文化芸術推進計画							
施策の柱 5	名称	縄文を守る			主管課	文化財課		
	詳細	縄文プロジェクトの5つの視点のうち、「守る」の視点から、縄文の遺跡や縄文時代から続くハケ岳を中心とする豊かな自然・風景を後世に継承し、茅野市の宝を守ります。						
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業		区分	
	1	埋蔵文化財保護率	埋蔵文化財保護(%) 保護件数/指定文化財件数	100.00	100.00	1	埋蔵文化財保存活用整備事業	実施
					100.00	2	縄文の里史跡整備活用事業	実施
	2	指定文化財件数	国・県等指定文化財件数(件)	102.00	106.00	3	市内遺跡発掘等調査事業	実施
					110.00	4	文化財保護団体育成支援事業	実施
	3	尖石遺跡試掘調査率	遺跡保存面積の試掘調査進捗度(%)	10.00	12.50	5		
					15.00	6		
	基本政策間連携 縄文の里史跡整備・活用計画・茅野市文化芸術推進計画							
施策の体系 6	名称				主管課			
	詳細							
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業		区分	
	1					1		
						2		
	2					3		
						4		
3					5			
					6			
基本政策間連携								

施策等名称	縄文プロジェクトの推進	体系番号	0703010101
		主管課	縄文プロジェクト推進室

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
施策	縄文プロジェクトHP等アクセス数	93,543	119,702	68,029	113,387	198,321	163,784
		1	94,000	127.34	72.37	120.62	210.98
変動要因等	2018年度	縄文への関心をもたれている方が増え、HPへのアクセス数は伸びている。					
	2019年度	ライフフェスやTV特集、縄文ブーム等によりここ2年は飛躍的に伸びたが、大きな出来事が無かったことからアクセス数は落ち込んだ。					
	2020年度	再び縄文に関心をもたれる方が増え、HPへのアクセス数が伸びた。					
	2021年度	近年、縄文ブームで尖石縄文考古館がテレビで取り上げられることが多く、前年に比べて飛躍的にアクセス数が増加した。					
	2022年度	縄文ブームはあるものの、コロナ禍で考古館主催イベントがなかったため、アクセスが減った。2021年度の世界遺産登録が後押しした全国的な縄文ブームが落ち着いたとみられ、アクセス数が減少した。					
施策	尖石縄文考古館入館者数	59,782	56,953	54,434	26,366	32,442	54,030
		2	65,000	87.62	83.74	40.56	49.91
変動要因等	2018年度	2018年度は、無料入館としたハケ岳JOMONライフフェスティバルの翌年にあたるため入館者は減少した。					
	2019年度	10月の行楽シーズンを直撃した台風の影響から入場者数は減少した。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う約2か月間の休館等により入館者数は大幅に減少した。					
	2021年度	新型コロナウイルス感染拡大防止で、約1か月間休館となったが、鎮静化しつつある時期があり、また、防止対策をとりながら経済を動かすという施策などもあり、人流が戻りつつあり、入館者は回復傾向ある。					
	2022年度	近年の縄文ブームで尖石縄文考古館がテレビで取り上げられることが多くなったことに加え、御柱祭の影響があった。コロナ前の水準に戻ったが、なお学校利用が少なく目標値には届かなかった。					
施策	尖石縄文まつり入場者数	3,142	4,240	3,411	-	-	-
		3	3,900	108.72	87.46	-	-
変動要因等	2018年度	縄文まつりの案内配布を予定通り実施できたこともあり、また縄文ブームも加わって入場者数が増加した。					
	2019年度	10月の行楽シーズンを直撃した台風の影響から入場者数は減少した。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。					
	2021年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。					
	2022年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。					
柱1	尖石縄文考古館入館者数	59,782	56,953	54,434	26,366	32,442	54,030
		1	65,000	87.62	83.74	40.56	49.91
変動要因等	2018年度	2018年度は、無料入館としたハケ岳JOMONライフフェスティバルの翌年にあたるため入館者は減少した。					
	2019年度	10月の行楽シーズンを直撃した台風の影響から入場者数は減少した。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う約2か月間の休館等により、入館者数は大幅に減少した。					
	2021年度	新型コロナウイルス感染拡大防止で、約1か月間休館となったが、鎮静化しつつある時期があり、また、防止対策をとりながら経済を動かすという施策などもあり、人流が戻りつつあり、入館者は回復傾向ある。					
	2022年度	近年の縄文ブームで尖石縄文考古館がテレビで取り上げられることが多くなったことに加え、御柱祭の影響があった。コロナ前の水準に戻ったが、なお学校利用が少なく目標値には届かなかった。					
柱1	縄文プロジェクトHP等アクセス数	93,543	119,702	68,029	113,387	198,321	163,784
		2	94,000	127.34	72.37	120.62	210.98
変動要因等	2018年度	縄文への関心をもたれている方が増え、HPへのアクセス数は伸びている。					
	2019年度	ライフフェスやTV特集、縄文ブーム等によりここ2年は飛躍的に伸びたが、大きな出来事が無かったことからアクセス数は落ち込んだ。					
	2020年度	再び縄文に関心をもたれる方が増え、HPへのアクセス数が伸びた。					
	2021年度	近年、縄文ブームで尖石縄文考古館がテレビで取り上げられることが多く、前年に比べて飛躍的にアクセス数が増加した。					
	2022年度	縄文ブームはあるものの、コロナ禍で考古館主催イベントがなかったため、アクセスが減った。2021年度の世界遺産登録が後押しした全国的な縄文ブームが落ち着いたとみられ、アクセス数が減少した。					
柱1	縄文ガイドブック販売数	809	593	477	187	254	314
		3	809	73.30	58.96	23.11	31.40
変動要因等	2018年度	ガイドブックはH28年度に編集し、H29年度から販売開始。初年度の売り上げに対し、2年目が鈍化した。					
	2019年度	欲しい方がほぼ手に入れたことから、新たな購入者の開拓に繋がらず、さらに売り上げが鈍化した。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染症による入館者数の減少も影響して、売り上げは大幅に減少した。					
	2021年度	新型コロナウイルス感染拡大防止で、約1か月間休館となったが、鎮静化しつつある時期があり、また、防止対策をとりながら経済を動かすという施策などもあり、人流が戻りつつあり、入館者の回復に伴い、販売数も増加した。					
	2022年度	尖石縄文考古館の入館者数の増加に伴い、購入者が増加した。					

施策等名称	縄文プロジェクトの推進	体系番号	0703010101
		所管課	縄文プロジェクト推進室

No.	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
柱2 1	縄文プロジェクトHP等アクセス数	93,543	119,702	68,029	113,387	198,321	163,784
		94,000	127.34	72.37	120.62	210.98	174.24
変動要因等	2018年度	縄文への関心をもたれている方が増え、HPへのアクセス数は伸びている。					
	2019年度	ライブフェスやTV特集、縄文ブーム等によりここ2年は飛躍的に伸びたが、大きな出来事が無かったことからアクセス数は落ち込んだ。					
	2020年度	再び縄文に関心をもたれる方が増え、HPへのアクセス数が伸びた。					
	2021年度	近年、縄文ブームで尖石縄文考古館がテレビで取り上げられることが多く、前年に比べて飛躍的にアクセス数が増加した。					
	2022年度	縄文ブームはあるものの、コロナ禍で考古館主催イベントがなかったため、アクセスが減った。 2021年度の世界遺産登録が後押しした全国的な縄文ブームが落ち着いたとみられ、アクセス数が減少した。					
柱2 2	茅野市ふるさと応援団の登録者数	1,189	1,266	1,322	1,338	1,342	1,346
		1,650	76.73	80.12	81.09	81.33	81.58
変動要因等	2018年度	茅野市のまちづくりに興味・関心があり、協力したいという気持ちを持つ市民の方が増えている。					
	2019年度	茅野市のまちづくりに興味・関心があり、協力したいという気持ちを持つ市民の方が増えている。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染症の影響のためか、登録者数はあまり増えなかった。					
	2021年度	茅野市のまちづくりに興味・関心があり、協力したいという気持ちを持つ市民の方が増えている。					
	2022年度	茅野市のまちづくりに興味・関心があり、協力したいという気持ちを持つ市民の方が増えている。					
柱2 3	女神のクールビズの参加事業者数	8	15	15	16	16	16
		30	50.00	50.00	53.33	53.33	53.33
変動要因等	2018年度	縄文のまち茅野市をアピールするための理解や協力が広がっている。					
	2019年度	縄文のまち茅野市をアピールするための理解や協力が広がっている。					
	2020年度	縄文のまち茅野市をアピールするための理解や協力が広がっている。					
	2021年度	縄文のまち茅野市をアピールするための理解や協力が広がっている。					
	2022年度	縄文のまち茅野市をアピールするための理解や協力が広がっている。					
柱3 1	縄文関連商品開発支援事業補助件数	1	1	0	0	1	0
		2	50.00	0.00	0.00	50.00	0.00
変動要因等	2018年度	例年同様の推移をしている。					
	2019年度	補助申請件数はなかった。					
	2020年度	補助申請件数はなかった。					
	2021年度	新商品の開発は少ないが、縄文に対する関心は失われていないと考えられる。					
	2022年度	補助申請件数はなかった。					
柱3 2	縄文関連商品取扱店舗数	3	3	0	0	1	2
		7	42.86	0.00	0.00	14.29	28.57
変動要因等	2018年度	例年同様の推移をしている。					
	2019年度	新商品の開発が無かったため、取扱店舗数はない。					
	2020年度	新商品の開発が無かったため、取扱店舗数はない。					
	2021年度	新商品の開発は少ないが、縄文に対する関心は失われていないと考えられる。					
	2022年度	新商品の開発は少ないが、縄文に対する関心は失われていないと考えられる。					
柱3 3	イベント出展回数	3	3	4	-	-	-
		7	0.43	0.57	-	-	-
変動要因等	2018年度	例年行っている縄文まつりの他に、日本遺産のイベントや長和町でのイベント協力などがあった。					
	2019年度	例年行っている縄文まつりの他に、九州国立博物館、國學院大學での対談、長和町でのイベント協力などがあった。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種イベントが中止となった。					
	2021年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種イベントが中止となった。					
	2022年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種イベントが中止となった。					

施策等名称	縄文プロジェクトの推進	体系番号	0703010101
		所管課	縄文プロジェクト推進室

No.	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
柱4 1	尖石縄文まつり入場者数	3,142	4,240	3,411	-	-	-
		3,900	108.72	87.46	-	-	-
変動要因等	2018年度	縄文まつりの案内配布を予定通り実施できたこともあり、また縄文ブームも加わって入場者数が増加した。					
	2019年度	10月の行楽シーズンを直撃した台風の影響から入場者数は減少した。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。					
	2021年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。					
	2022年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。					
柱4 2	ハケ岳JOMONライフフェスティバル来場者数(3年毎)	29,425	-	-	-	-	-
		32,000	-	-	-	-	-
変動要因等	2018年度	第1回を2020年度に実施予定(2018年度は実施なし)					
	2019年度	第1回を2020年度に実施予定(2019年度は実施なし)					
	2020年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。					
	2021年度	事業が廃止となった。					
	2022年度	事業が廃止となった。					
柱4 3	甲信縄文文化発信・活性化協議会の連携度	8	9	8	1	1	1
		15	30.00	26.67	3.33	3.33	3.33
変動要因等	2018年度	月1回の担当者会議や総会、甲信縄文フェスティバルなどで連携、協力を行った。					
	2019年度	月1回の担当者会議や総会、甲信縄文フェスティバルなどで連携、協力を行った。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、担当者会、総会は中止となった。					
	2021年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、担当者会、総会は中止となった。					
	2022年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、担当者会議は行ったが、総会は中止となった。					
柱5 1	埋蔵文化財保護率	100	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100	5000.00	5000.00	5000.00	5000.00	5000.00
変動要因等	2018年度	予定通り実施している。					
	2019年度	予定通り実施している。					
	2020年度	予定通り実施している。					
	2021年度	予定通り実施している。					
	2022年度	予定通り実施している。					
柱5 2	指定文化財件数	103	104	104	104	104	104
		106	1485.71	1485.71	1485.71	1485.71	1485.71
変動要因等	2018年度	新たに長野県宝「信州の特色ある縄文土器」が指定された。					
	2019年度	前年度と変更なし。					
	2020年度	前年度と変更なし。					
	2021年度	前年度と変更なし。					
	2022年度	前年度と変更なし。					
柱5 3	尖石遺跡試掘調査率	10	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
		13	0.71	0.71	0.71	0.71	0.71
変動要因等	2018年度	調査面積は目標値には届いていないが、前年度に続いて調査を進め予定通り進捗している。					
	2019年度	調査面積は目標値には届いていないが、前年度に続いて調査を進め予定通り進捗している。					
	2020年度	調査なし。					
	2021年度	調査面積は目標値には届いていないが、前年度に続いて調査を進め予定通り進捗している。					
	2022年度	調査面積は目標値には届いていないが、前年度に続いて調査を進め予定通り進捗している。					

施策等名称	縄文プロジェクトの推進	体系番号	0703010101			
		主管課	縄文プロジェクト推進室			

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年(前年度比)		2019年(前年度比)		2020年(前年度比)		2021年(前年度比)		2022年(前年度比)	
投資額	事業費(円)	19,338,358		16,910,713	0.87	8,956,883	0.53	11,172,663	1.25	20,369,748	1.82
	うち一財(円)	19,338,358		16,910,713	0.87	7,287,913	0.43	9,257,663	1.27	14,213,748	1.54
	増減理由 (一般財源前年度比±10%以上の場合に記載)					新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ハケ岳JOMONライフフェスティバルを中止したため。		新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、縄文祭りを縮小したため。		特別史跡指定70周年記念事業と史跡公園の第2期整備を実施したため。	
進捗評価		おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調		やや遅れている		やや遅れている	
総合評価	主な取組内容や成果	縄文プロジェクトの取組により、縄文文化をまちづくりにかつ取組が根付いてきている。長野・山梨の関係14市町村で構成した縄文文化圏が日本遺産に認定された。		日本遺産(甲信縄文文化発信・活性化協議会)とタイアップした周知活動や認知度アップのための施策を行い誘客につなげることができた。		縄文を広げるために学校への支援やホームページの充実により、周知や認知度アップのための取組をすることができた。		縄文文化賞事業や縄文ホームページ運営事業などにより、縄文についての認知度を高めた。		(R4・総括評価共通)縄文文化賞事業や縄文ホームページ運営事業などにより、縄文についての認知度を高めた。	
	課題	縄文プロジェクトへの関心は決して高くない。全市民の方に取組を認識し、興味をもっていただけるような施策を展開していく必要がある。		縄文プロジェクトへの関心は決して高くない。プロジェクトの考え方や方向性を整理し、全ての方に取組を認識していただけるような施策を展開する必要がある。		縄文プロジェクトへの関心は決して高くないが、イベント等の実施により市民に理解され、浸透してきている。プロジェクトの考え方や方向性を整理し、全ての方に取組を認識していただけるような施策を展開する必要がある。		縄文プロジェクトのメンバーが固定されてきており、高齢化も進んでいるところから、停滞している感が否めない。新しい発想で事業が行いづらくなっている。		(R4・総括評価共通)縄文プロジェクト実行市民会議においてこれまでの取組の成果、課題、反省を踏まえ、6部会で構成する同会議を見直し、新たな組織体制を構築して縄文プロジェクトを推進することが確認された。今後どのように展開していくかが課題である。	
改革・改善	改革・改善内容	現在の取組は継続していくが、縄文プロジェクトを再認識し、縄文の精神性を常に意識した各部署での取組について、各部署で協議・共有し、まちづくりにつなげていく。		茅野市の縄文文化の発信については、広域的な連携、取組の中で引き続き進めていく。縄文プロジェクトは停滞感が強いので、方向性について見直しを行っていく。		茅野市の縄文文化の発信については、広域的な連携、取組の中で引き続き進めていく。縄文プロジェクトは停滞感が強いので、各部署の取組内容や方向性について見直しを行っていく。		縄文プロジェクトの在り方を検討しなおして、新しい形態で、縄文プロジェクトを継承していく。		縄文プロジェクトを今後どのような形で行っていくか検討するために、まず市の方向性を示す必要がある。	
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱	4	4	5	5	5				
		重点事務事業	1	1	2	2	2				
理由	ハケ岳JOMONライフフェスティバルは、市民と共にイベントの企画、運営を行っていることから、第1回に向けた体制づくりと、具体的な企画、事業内容等を実行委員会で検討していく必要がある。		ハケ岳JOMONライフフェスティバルは、多くの来訪者に縄文を身近に感じていただくための施策を検討している。また、縄文プロジェクトを市民の方に認識してもらえる機会と捉えて、市民、関係団体と協働して取組まなければならない。		縄文プロジェクトの核となり、拠り所である尖石、上之段、駒形遺跡等の整備を進め、縄文によるまちづくりの基盤を整え、多くの縄文遺跡が遺された背景を含め、遺跡の価値、重要性、魅力を発信できる縄文ファンを増やしていく。		縄文プロジェクトの核となり、拠り所である尖石、上之段、駒形遺跡等の整備を進め、縄文によるまちづくりの基盤を整え、多くの縄文遺跡が遺された背景を含め、遺跡の価値、重要性、魅力を発信できる縄文ファンを増やしていく。		縄文プロジェクトの核となり、拠り所である尖石、上之段、駒形遺跡等の整備を進め、縄文によるまちづくりの基盤を整え、多くの縄文遺跡が遺された背景を含め、遺跡の価値、重要性、魅力を発信できる縄文ファンを増やしていく。		